

1. 主な取組内容・事例検討内容等

年間計画として①新型コロナについて意見交換、②昨年度実施した事例検討のフィードバック、③美原区の印象を出し合う（地域性の再確認）、④昨年度の「ド・レ・美原♪カフェ」のアンケートの共有という4本柱を元に取り組みを進めることとした。

①新型コロナについての意見交換については、コロナ禍での業務の変化、市民・職員への影響や感染対策、課題として感じていること等を意見交換し、出た意見をカテゴリー化し運営会議で共有をした。区協議会としては集約とカテゴリー化で一旦終結し市全体で検討することとなった。

②事例検討のフィードバックについては、昨年度5回の事例検討を実施したが、その後の振り返りを行っていなかった事から、地域の障害福祉サービス事業所にも参加を呼びかけるオープン形式で開催した。①事例検討でヒントをもらった内容や気づき、②その後事例にどう活用したか、③事例提供した感想を話していただいた。事例検討と銘打つと地域の支援事業所の参加率もあがり関心が高い一方、振り返り型→「SVの場」とはなりにくく、進行中の事例に助言をもらう「事例検討」と混同しているといった意見もあった。事例検討方式を求めている方もおられる事から、提供者の意向に応じて両方できる形をとり、「事例検討の場」なのか「SVの場（振り返り型）」なのかをその都度明確化し次年度も継続する予定としている。

③・④の「美原区の印象について出し合う」「ド・レ・美原♪カフェのアンケート共有」については、区協議会構成委員や地域の当事者団体・家族会より意見を聞くなかで地域の強みや課題を把握し、ネットワーク構築や取り組みに繋げていくことを想定していたが、コロナ禍で地域の当事者団体や家族会と対面で交流することができない状況が続いているため実施に至らなかった。代替えとして、区内で新設された2ヶ所の指定相談支援事業所をお呼びし、協議会参画機関と互いに事業所紹介と機能紹介をするプレゼン大会を実施した。新規事業所からは市の専門機関の役割などあまり把握できていなかったので知る機会となり好評であった。

2. 美原区が課題と捉えていること

これまでに出了美原区での地域課題として

- ・高齢化、単身生活者が増加している
- ・区内の社会資源が限られている
- ・医療的ケア児が利用できる施設が限られる（遠方になる）
- ・交通（アクセス）が不便
- ・道が狭く自動車の交通量が多いため車いすや自転車が走りにくい

とった内容がある。

新型コロナに関する課題については集約したものを市全体の課題としてとらえるが、区内で出た意見としては、対人接触が減ることによる活動の減少によるADL低下、医療機関の対応が混乱し当事者が不穏状態になった、電話で対応することが増え利用者の様子が見にくいなどがあがった。